

# 謹賀新年 新年のご挨拶



剣淵町長 早坂 純夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。また、日頃からの町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、春の雪解けが心配されましたが、順調に蒔き付け作業も進み、夏場は晴天高温、秋に入り雨が多く収穫に影響がある1年でした。水稻は収穫量が多いが青米混入、他の作物は種類によりばらつきのある状況ですが概ね良いと聞いております。

国政においては、昨年11月21日安倍総理が突如の衆議院解散を行

いました。10%消費税改定を1年半後の先送りやGDPのマイナス成長などに対する経済対策、地方に届いてないアベノミクス効果の検証などについて国民の信を問うものでした。特定秘密保護法、集団的自衛権などの重

要案件も安倍政権は、戦後日本の平和主義路線を大きく揺さぶる改変を進めてきました。環太平洋連携協定(TPP)交渉問題や安全保障、原発再稼働などの国の行方を左右する重要課題の議論は今後新政権で行うこととなります。特に、地方創生は我が町においても今後の財政計画において大きくかわることです。頑張る町村を応援する評価方法については、まだ、何も示されていません。国や道の動向を見極め、行政経営に邁進してまいります。

町政においては、一昨年4月からスローシネマによる全国上映会がスタートし、「じんじん」の効果による行政視察が50件を超え、250名におよぶ全国からの市町村議会議員や首長の来訪を受けま

した。このことは一般観光客増加にも通じるものですし、計り知れない知名度の向上による経済的効果を期待するものであります。

昨年の主な事業では、公営住宅の建設や改修、B&G体育館大改修、ほ場基盤整備の実施などは、将来への基盤となることと考えています。特に各種施設改修は財源確保も含めて計画的に着手していきたいと考えています。商店街街路灯のLED化については、国の支援を受け、剣淵商店街振興会のご尽力により計画全てを整備できました。商店街の皆様のご尽力は、協働のまちづくりに通じるものとして感謝申し上げます。

また、26年度の高等学校入学者が定員となりましたことは快挙です。ここ数年は定員に満たないことから、先生方および在校生による学校紹介などの活動成果によるものと考えます。町としましても教育の充実を図っていかねければならないと考えています。

福祉分野では、本年4月から特別養護老人ホームの入所者基準が法改定されることとなります。施設入所希望者ニーズに対応するため、民間グループホーム9床の増

設誘致をすることができました。このことは、本町における福祉サービスの上と、雇用環境の改善につながるものと考えています。また、診療所においては、医薬分業の見地から調剤薬局の誘致ができ、調剤時間の大幅短縮を図ることができました。引き続き、一次医療機関としての充実を図りたいと考えています。

喜ばしい話の一つとして、昨年11月28日、VIVA軽トラマルシエの活動成果が地産地消を伴う地域振興に値する活動として農林水産大臣表彰を受けました。受賞されました団体の皆様から敬意を表するとともに受賞のお祝いを申し上げます。

平成27年度の事業予算につきましては、現在予算編成中ですので概要などは懇談会などでお知らせいたします。

町民が主役の町づくりとは、皆様方との真の対話と行政に寄せられる信頼で成り立つと常々考えています。そこに活力と豊かな暮らしがあるわけです。町内においては、地域の特色を生かした観光誘致、交流事業、特産品開発や加工商品化など、活発な活動がなされ

ています。昨年5月、日本創生会議は、消滅する町などと統計的推計を発表しました。地方自治体を取巻く課題は、極めて厳しく不透明な状況であり、地方創生に呼応する事業も模索していかなければなりません。協働の町づくりは、町民の皆様のご理解とご協力がなければ達成できないことと考えます。

本日ここに剣淵町は「未来に残したい町」宣言を行いたいと思えます。今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。挨拶いたします。

## 剣淵町議会議長

大河 邦晃



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様方には2015年の輝かし

い新春をお元気で迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

また日頃より町政の推進に特段のご理解とご協力をいただいておりますことに對しましても厚くお礼を申し上げます。

議会におきましても一昨年の改選以来1名欠員の中、厳しい議会運営ではありましたが、町民の皆様のご理解の下、一致団結して何とか1年目を終えることが出来たことにお礼を申し上げます。

さて昨年の我町の農業を振り返って見ますと、米においては全道108の作況指数となり豊作が期待されたところですが、収穫時期の遅れなどから青米の混入が多く製米率も下がっており、加えて価格の低迷で素直に喜べる年では無かったかと思われまます。また畑作物に関しましては、甜菜が収量、糖分ともに平年を上回る好結果となりました。大豆、馬鈴しも平年を若干上回っていますが、他の作物、野菜などは夏の高温の影響などもあり平年を下回り、加えて価格も安く、苦勞の報われない年であったと思われまます。行政といったしましても災害に強い農業基盤づくりに一層力を入れ、暗きよ排

水、区画整備を柱とした三地区の道営事業と町営の事業を実施しており今後も継続していく所存であり、農業者の皆様の深いご理解をお願いいたします。

国政に関しましてもTPP問題も年内の決着は見込みが薄く、先行きは全く不透明であり、農家にとりましては大きな不安を抱えての年越しとなりました。アベノミクス効果も一部輸出関連の大企業では恩恵があるものの地方においては全く感ずることが出来ず、消費税増税や急激な円安による物価の高騰など一般庶民の暮らしは厳しさが増すばかりであり、都市と地方の格差は広がる一方であると思われまます。総選挙が終わった今度こそ国は国民目線に立ち返り全国津々浦々に光が当たる政治を実行してほしいと願います。

また明るい話題もありました。11月には農林水産省が行っている、地産地消優良活動表彰において町内の若手農業者で作るビバマルシエのグループが、地域振興部門で全国最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。2010年に農協青年部のグループが軽トラックに農産物を積んで各地に出向き直接販

売したのが始まりで、生産者と消費者の顔の見える販売で安全、安心、そして「おいしさ」が好評を呼び今では道内はもちろん、道外でも高い評価を得ており今後の同グループのさらなる活動、活躍が期待されるところです。また9月には絵本の里剣淵を題材とした映画「じんじん」が厚生労働省社会保障審議会推薦の児童福祉文化財に選ばれました。一昨年の夏から全国一斉に映画の上映が始まり、大きな反響を呼んでおり、昨年は全国各地から50以上の市町村の視察があり絵本の里けんぶちの名が全国に知れわたりました。これらを契機として今後は、行政、議会、住民が一体となり、先人が築いてこられた恵まれた郷土を、明るく希望ある郷土へと発展させていかなければなりません。これからは厳しい行政運営が続くと思われまます、皆様の期待にこたえるべく全力を傾ける決意ですので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。本年こそ豊穰の年であることを願ひ、新しく迎えた年が希望に満ちた年でありませう心からご祈念申し上げます。